

もゆる浪漫

山形市立第八中学校たより
第7号 校長 長沼 政直
令和6年12月10日 発行

山形八中生徒会に期待するもの

11月6日は山形八中生徒会役員改選に伴う立会演説会と投開票の日でした。それを受け、11月18日に前期生徒会の振り返りと後期生徒会役員の任命式が行われました。

今回は、「生徒会に期待したいこと」として、任命式の場で新生徒会役員を含めた八中生の皆さんにお話した内容を、整理してお知らせします。

1つ目は、生徒会活動は、「学校生活を向上させるためにある」という基本を忘れないということです。学校生活を向上させようと「当たり前のことを当たり前に行おう」という呼びかけが学校ではよく用いられますが、正直、「言うは易く行うのは難しい」と思います。なぜなら、「ぼくの当たり前は、みんなとは違うなあ」と考える人がいるからです。ですから、多様な考えを尊重しながらも、正しいことや良いこととして、これまで多くの人が考えてきたことを基本軸として、話し合いの上、意見をすりあわせ、質の高い当たり前をつくってほしいと思います。

2つ目は、公約に具体性を持たせ、実際に行動にうつしてほしいと思います。学校教育目標の中に「創造」という言葉があります。創造とは、人まねでなく、新しいものを自分から最初に取り出すこと、つまり0から1をつくることです。例を挙げると、昨年度、応援団長になった原田逢音さんは、1人昇降口前に立ち、あいさつ運動を開始し、0から1をつくりました。その後、毎週木曜日に実施すると決めると、一緒にあいさつ運動に加わる人も増え始めました。昼の放送で、あいさつの様子を紹介し、振り返りも行ってくれました。新生徒会では、あいさつ運動をさらに充実させ、昨年度生まれた1の状況を100にする気持ちで頑張ってください。そして、小規模校のリーダーとして、学校規模に関わらず心がけたいのできる、あいさつや無言清掃、教室の整理整頓など日本一にする意気込みで頑張してほしいとねがいます。

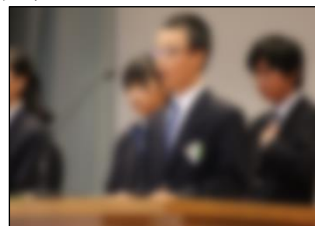
3つ目は、現在の生徒会スローガン「結（むすぶ）」について、深く考え、その良さを引き継いでほしいと思います。特に、今年度は地域社会との結びつき（ボランティア、祭への参加）が、一層活発になったと感じています。生徒会を中心とする八中生の活動が、いかに地域を勇気づけたか、地域にエネルギーを与えたか計り知れません。ぜひ、このことも踏まえつつ、2年生を中心とした新役員が、今後のリーダー研修会での学びも活かし、次年度のスローガンをつくってください。

< 令和6年度後期 生徒会役員 >

生徒会長	佐藤 楓真	事務局員	城戸口 凜
生徒会副会長	石澤 大雅	事務局員	木川 日向
事務局長	佐藤 凜子	事務局員	後藤 廉育
評議員長	高野 蒼志	事務局員	高野 芽生
環境美化委員長	志鎌 大輝		
給食委員長	庄司 絢音		
保健委員長	向田 彩乃		
応援団長	清野 啓太		



選挙活動の様子



新生徒会長挨拶

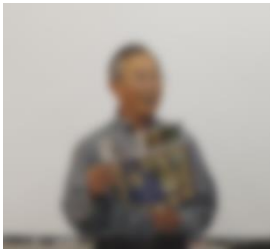
子どもの活動の記録から



教頭先生が、いじめに関して授業を行ってくれました（各学年）



保健師さんにSOSの出し方を教わりました



2年歴史講話 左：西山形の講師 右：大曽根の講師の方々



3年生が村木沢文化祭で発表を行いました



2年生が、悪戸芋収穫のお手伝い



1, 2年生での芋煮会



あじさい合同社会見学



あじさい作品展



ボランティア活動（左：ゴミ拾い活動 右：植栽活動）



生け花（昨年の総合活動部3年が参加しました）

栄光の記録（生徒の活躍から）

◇山形県中学校新人大会南ブロック大会

男子バレーボール部 準優勝

◇山形県中学校新人大会決勝大会

男子バレーボール部 第3位

◇令和6年度山形県ムエタイ連盟強化指定選手 門脇愛莉

◇山形地区防犯広報作品コンクール 防犯標語の部 優秀

「いつかじゃない いますぐやろう 防犯対策」 鬼島さくら

◇山形市中学校英語暗唱大会

Very Good 佐藤楓真 Good 志鎌哉太



外部活動での作品 2年加藤羽多
(職員室前廊下に掲示してあります)